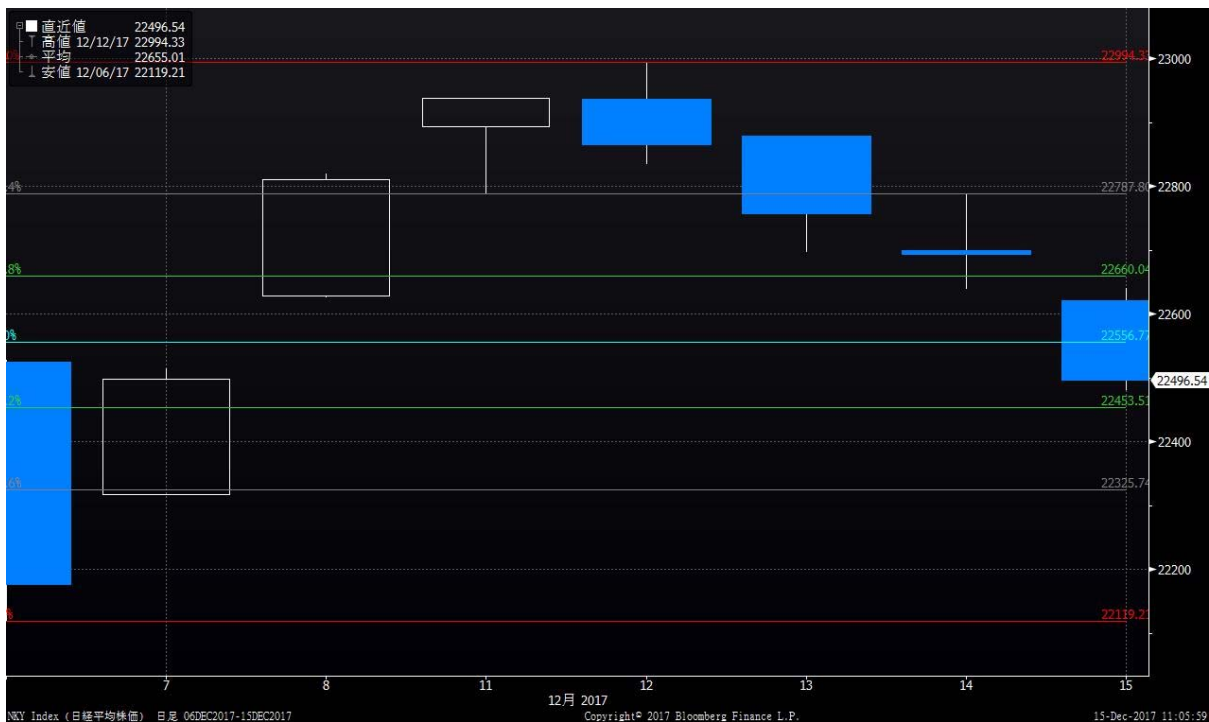


## 下値の堅さを確認

今週は年初来高値更新で始まったものの、今日の前引け段階では4日続落と冴えない展開となった。先週6日に急落した時の安値から月曜までの戻り幅に対し、すでに半値押し水準まで売られた。



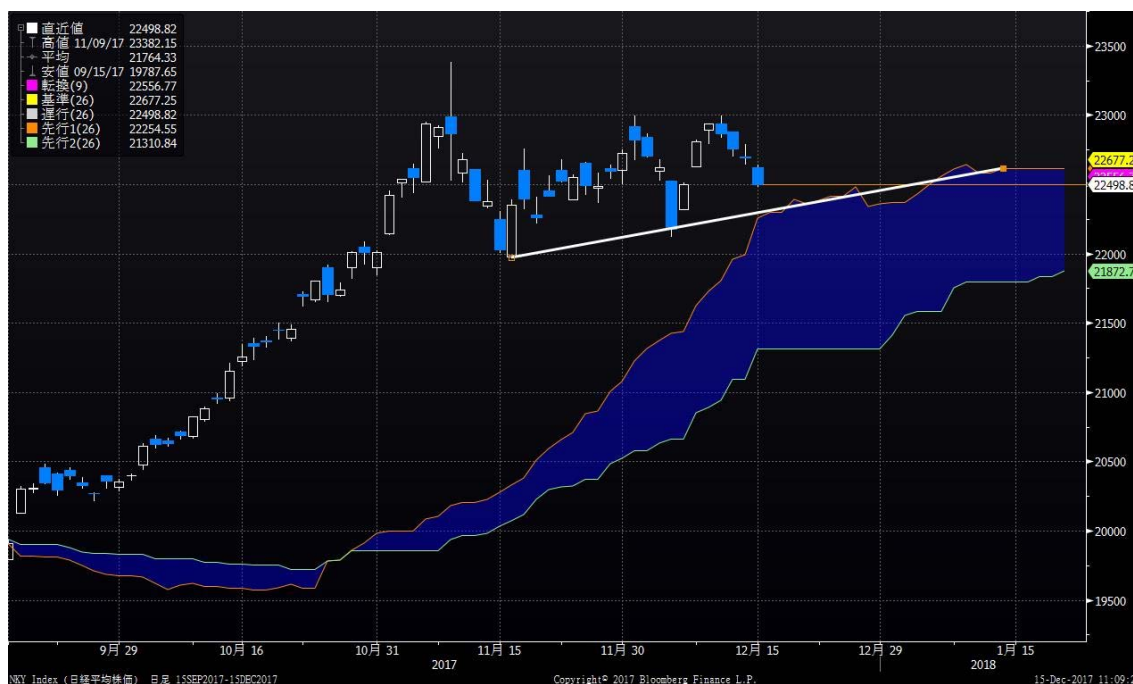
(出所: Bloomberg)

急落した後、すぐに25日線を奪回したのは強い動きであったが、現在は25日線そのものが下向きとなり、サポートラインの役目を果たせない。心理的な節目である22500円もあっさり割り込んだ。



(出所: Bloomberg)

非常に悪いチャートの形である。2万3000円の壁を試しにいて終値で越えられなかったのはこれで3回目だ。こうなると、6日につけた安値水準(2万2119円)まで再び売られることも覚悟するべきか。しかし、その手前に一目均衡表の雲の上限がある。2万2300円あたりで下げ止まり、その後は緩やかに切り上がる雲の上限に沿った動きとなれば、「下値切り上げ型」の上昇トレンドが継続することになる。2万2300円どころをキープできるか注目である。



(出所: Bloomberg)

と、ここまでは前引け時点で書いたものだ。それが後場に入って日経平均は急速に下げ幅を縮小し、これを書いている 14 時現在ではほぼ前日比変わらずで推移している。いったん、いいところまで下げたので調整一巡感が出たのだろう。今日の下げは楽天の参入で、KDDIとソフトバンク、NTTドコモなど通信株が大幅安になったことが響いている。一方、東京エレクトロや SUMCO など半導体関連がしっかり。安川電も 3%高だ。ハイテクに資金回帰が見られる。112 円台前半まで進んだ円高にもかかわらず、一時の 200 円安を埋め戻した相場の底堅さが確認できた。

17 日の日曜日は金正日の命日だ。北朝鮮の動きに警戒したい。

#### ご留意いただきたい事項

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

#### 利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先金融機関より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会